



参加無料

LGBT を学ぶ

加藤ゆうけいさんと共に



2020年1月18日（土）14:00～16:30

豊川高校 1階第3会議室

14:00～14:30	加藤さんのお話
14:40～15:45	加藤さんと本音トーク
16:00～16:30	豊川市市民協働国際課のお話 「協働で元気なまちづくり」

著書の表紙
幻冬舎



かとうゆうけい
加藤悠京さん

愛知県名古屋市出身、会社員。笠寺小学校から本城中学校、一宮女子高等学校(現・修文女子高校)を経て、電機メーカーに就職

心は男性、身体は女性・・・性同一性障害当事者が語る「現実」
降りかかる様々な困難を乗り越えながら...。
しかし、「障害は不幸の原因ではない」と言い切る。

~~~~~LGBTを学ぶ 加藤ゆうけいさんと共に~~~~~

協働事業『一度しかない人生、思い切り輝く Part2～ひとりひとりの音色（個性）を大切に作るハーモニー＝共生社会～』（3月22日（日）13:30～16:30 ウィズ豊川）の、より一層の内容充実を目指した事前勉強会です。

残念ながら、このメインイベントそのものは新型コロナウイルス感染拡大の様相があり、中止になりました。

加藤さんのスピーチ 14:00～14:30
加藤さんと本音トーク 14:40～15:45
豊川市市民協働国際課のお話 「協働で元気なまちづくり」 16:00～16:30

参加 21名 一般 4名 豊川高校生徒会 5名 豊川共生ネットみらい 10名
豊川市市民協働国際課 2名

.....

かとうゆうけい 加藤悠京さんのスピーチ（要旨）

こんにちは。私が加藤悠京です。名古屋の南区笠寺から来ました。本日は私の半生をお話しさせていただきたいと思っております。この後の質疑応答の際には本音をぶつけていただいて構いませんのでよろしくお願いいたします。

私は昭和55年生まれの39歳です。4月で40になります。私は女性として生まれて30歳の時に名古屋家庭裁判所で改名をしました。体の手術自体は2年前タイのバンコクで行って、今、全部終わっています。

まず、私は4人兄弟の2番目で長女として生まれました。両親と下に2人妹と弟がいます。上に4歳上の兄がいます。私だけが性同一性障害いわゆるLGBTと言われているんですけど、そういう感じで生まれて今に至っています。

私は幼稚園の時から実は今思えばそういう自覚があったんですけど、LGBTの方は小学校中学校の時から自分で気づくことが多いんですけど、私は幼稚園の時から実はあって、それはなんでかって言うと、最初幼稚園に入って恋愛とかまだ学んでない頃から可愛いなと思って無意識のうちに目で追っていた子が女の子だった。今思えば、生まれつきあったのかなってという自覚が今でもあります。相手の子の名前も顔も今でも覚えているので。

LGBTのLはレズビアン、女性同性愛者。Gがゲイ、男性同性愛者。Bがバイセクシャル、両性愛者。男性でも女性でも私は好きですよっていう縛りをつけない方のこと。Tがトランスジェンダー、私はこのTに該当するんですけど、トランスジェンダーというのは心の性と体の性が一致しない人のことを指します。なので、LGBは性的指向。Tだけが相手がどうのではなくて自分の体の性と心の性が一致しない人のことを言います。この4つのセクシャリティの頭文字を取ってLGBTと俗に言われています。

セクシャリティというものがあるんですが、セクシャリティには三つの要素があります。一つ目は体の性。生まれ持った体、ステロイドホルモンのレベルや外性器の形で判断されます。二つ目が心の性。自分自身の性別をどのように自分で判断しているかになります。三つ目が好きになる性。自分自身が好きになる恋愛対象の相手の性別を指します。

社会人はすごく緩くなってきたんですけど、性別で分けられていることとして、今学生の子達が悩んでいる。一つ目、トイレや更衣室。二つ目がお風呂です。修学旅行、団体生活でのお風呂。三つ目が健康診断。あとは、制服、ランドセル、合唱祭でのパートなどソプラノアルトバスなど、男性女性で今は分けられています。あとはプールの授業、男性女性で分けられています。

幼稚園の時は特になかったのですが、一つだけ先生達にちょっとバカにされたって言うか、私の背が高くて男の子みたいな顔立ちでガタイも結構良かったので、先生たちから集団いじめと言うか笑われたのがすごく記憶があり、それは今でも心のトラウマとして残っています。

小学校に入って4年生ぐらいから、ランドセルも赤色なのに、身なりや喋り方とか雰囲気男の子だったので、いじめが結構ひどくなっていった記憶があります。例えば、朝教室に行くと、気持ち悪いみたいな事を落書きされていたり、靴を隠されたりとか。当時は親に言うのと悲しむとわかっていたので隠していました。なので、全部自分で抱えて家に帰って泣いたりもしていました。そんな姿を親にも見せられなくて悲しかったです。小学校6年生ぐらいの時が一番いじめがひどくて、クラス40人だったんですけど、全体からも無視されたりして、すごいつらかった思い出があります。でも、一人だけすごく理解のある子がいて、女の子だったんです。私とは全然タイプが違ってすごく女の子で、頭も良くて、何で一緒にいてくれたのか今でも不思議ですけど。私の元の名前は京子で京ちゃん、京ちゃんって言って、移動教室でも一緒に行動してくれて、その子がいなかったら、たぶん学校行ってなかったんじゃないかなって思うぐらい、その子の存在が大きかったです。

中学校に入学してやっぱり一番最初に大きかったのが、スカート問題。制服のスカートがすごく嫌で、親に私服の学校に行きたいって結構駄々をこねたぐらい。いやいや着なきゃいけないんですけど、ずっとスカートを3年間着て、中学校は通いました。それと、一番嫌だったのが夏のプール。すごく苦痛でした。中1と中2までは普通に水着を着たんですけど、中3になると体が発達してきて、出るところが出てきて、それが苦痛で、中3の最初のプールの授業から体調不良という理由で全部休んだ。私は中3の初めの頃にはソフトボールでの高校のスポーツ特待がもう決まっていたので、入学できると思って過ごしていました。先生が体育を1にしたんですね。中1中2、体育全部5だったのに、水着を着たくなくてプールに入らなかったことによって、5から1に下げたんです。そのプールの授業を全部休んだことによって、卒業式の前ぐらいに特待を取り消されてしまいました。その当時、入学金全額免除・授業料3年間免除というルールがあったので、親も行けるもんだと思っていました。ある日、高校から「すいません。特待の話はちょっと白紙で」と急に連絡がありました。びっくりして話を聞いたら、「実は中学校の体育教師があなたを1にしているの、特待制度で入ってくる生徒が1というのはおかしいから、ちょっと認められない」と言われたのです。結局、一般入試でソフトボールが強かった修文女子高校に入りました。

今も女の子で水着を着るのが嫌だって思う子はいることを、学校の先生に伝えておきたいです。すごく苦痛だと思います。私と逆のバージョンで、男の子で男の子の水着を着るのを嫌だという子もいると思います。そういう生徒の気持ちもちょっと認識していただきたいです。

あと修学旅行の大浴場も私はすごく嫌でした。当時どういうふうに乗越えたかと言うと、一番最初に入って一番最初に出ました。それは体を見られたくないからで、全部隠して、他の女の子が入ってくる前に、入って洗って出たという感じで、四日間そういう感じで乗越えて、それも辛かったなという思い出があります。やっぱり大部屋で寝る時も、女の子って固まって恋話とかするんですけど、私はそこには入れなかった。表面を合わせたんですけど、すごく苦しかったです。あと中学校も若干いじめと言うか、直接耳に入ってきたってことはあった。ちょっとおかしいよね、あの子みたいな感じで。やっぱりガタイもいいし身なりも男の子なのにスカートををはいてと言う声が、同級生からも聞こえてきました。先輩からもいじられたりもしていたので、小中、私はいじめの記憶が今でも本当にすごく強いです。

高校生ぐらいからちょっと人生に光が見えてきたと言うか、運動部だったので同じ人種、同じ種類の子が集まるような強いスポーツ学校で、全国から集まってきたんです。ソフトボールに熱中して、3年間を過ごしました。ここではいじめられずに済む、自分を偽って生きることをしなくていいんだと前向きになれました。

私はやっぱり辛いことから逃げる性格と言うか、人間的にちょっと弱い部分がありました。いじめのこともそうですし、親にも言えなかったです。人生卑屈になって自分自身を恨んだし、こうやって産んだ親も恨んでいました。なんでこんな風に生まれてきたのかな、こんな苦しい思いをして。心の性と体の性が一致してなかったんです。性同一性障害っていう名前がついたのは後から。私、小中から、頭おかしいのかなと思うぐらい自分のことをずっと考えて

きました。でも、それを前向きにしてくれたのが、高校の時の部活の先生でソフトボールを通して鍛えてくださいました。今は亡くなってしまったんですけど、その先生がいたから、私は今ここにいると言えるし、前向きに受け止められるようになったと思います。先生を親以上に家族のように感じていました。

高校はずっとソフトボールに打ち込んで、本当にいじめはなかったです。同じような子達ばかりの集まりだったので楽しかったです。高校から実業団ソフトボールを通して推薦で就職しました。私は入社時の面接もなく、そのまま、すんなりストレートで名古屋のブラザー工業っていう、ミシンとかプリンターの有名電気メーカーに入社させていただきました。

当時はもちろん女子として入社したので、会社の女子寮に入りました。ソフト部は強制的に寮生活でした。女子寮の中にはソフト部と一般寮生が一緒にいる感じで、5年ぐらい共同生活をしました。

そこでの問題は一般女子とお風呂、トイレ、食堂が一緒だったということ。私には違和感がなかったんですけど、周りはみんな普通の女子だったので心の距離があったというか、こちらが挨拶をしても「ん？」って感じで見られたりしました。いじめとかはなかったんですけど、ちょっと生活が最初しづらかったです。なので、私はできるだけお風呂は遅い時間に入っていたりとかして、他の女子寮生とは、いつもちょっと時間をずらしてしていました。

あと18から入ってずっと30歳までは女子のピンクの制服を着てたんですけど、30歳の時に自分の中で一つ目の大きな決断、改名に踏み切りました。

改名する際に、会社の上司の許可を得て、理由というか自分のことも正直にそこで初めてお話をし、人事部の方にも加わっていただいて、改名をしました。名古屋家庭裁判所で、書記官に1回名前を変えてしまうともう後戻りはできないから、もうちょっと考え直せみたいなことを言われて、1回目は退けられました。でも、2回目も気持ちは変わらなかったの、ちゃんと申請できてすんなり京子から一文字とって、悠京にしました。実家に戻って正座をして、親に、名前を変えさせてくださいとお願いしました。親はOKということだったんですけど、泣いていました。改名をしたのは30歳です。

それと同時に上司が「この職場ではやりづらいと思うから、工場をいっそのこと変わったらどうだ。変わった先は誰も事情も知らないし、一から男性としてやることはできるから」と言ってくださいました。ということで、そのように段取りもしていただいて、新しい工場、同じブラザーのグループの別の工場に新しい名前で制服も女子から男性に、全部きれいに変わっていただいて、更衣室もちゃんと専用に使っていただいて、30歳の時に出発することができました。新しい職場ですごく嬉しかったです。自分の待ち望んでいた待遇、制服もちゃんと男性の制服でしたし、扱いもみんなそのように扱っていただきました。元々女性ということは上司しか知らなかったの、すごくいい職場だったなと思います。そこでは長く働き続けました。

やっぱり周りの同じLGBTの子に聞くと、うちの会社ではそんなこと言える雰囲気ではないと、今でも多々聞きます。ブラザーは恵まれていたなって、今では思います。結構、大きい自動車メーカーとかでもみんな隠して働いています。

で、ブラザーは20年勤めまして、今は大手のタクシー会社に勤めています。タクシー会社も自由な雰囲気、制服も自由です。

2年前にタイのバンコクで大きい手術をしました。胸は国内で30歳のときにとったんですけど、バンコクでは子宮卵巣の摘出をしました。国内だと保険がきいたんですけど、バンコクでは実費です。生命保険も海外で手術する場合は適用されないということでした。結構大きい手術なので死ぬ気で2週間行ってきました。手術の方は無事きれいにすみました。

あと2年後にあと2回、タイでステージ4という最終的に陰茎をつける手術をします。ちゃんと神経も通すので痛みなどの感覚もあります。それは本当に大きい手術で、亡くなっている人もいるので、人生を賭けて行ってきたいと思います。

日本ではまだそんなに経験している人がいない手術です。日本では性同一性障害は保険適用されない。今、政府で議論されているとは思いますが、今はまだ健康保険が適用されてないので300万、400万が実費でかかるこ

とが問題視されていると思います。お金がかかることなので、それを理由に諦める人は本当に多いです。大金をかけたからといって必ずしも成功する訳ではないです。技術的には正直、日本よりもタイの方が数段上なのでタイでやる人は多いです。日本の中では、病院が技術面や性差別というか認識的にまだちょっと下に見ているといった意識がまだまだ強いと思います。

今では LGBT という言葉は浸透してきましたが、昔の日本は男は男らしく、男性と女性が結婚して男は働いて、女性は絶対家庭に入ってという認識が強かったと思うんです。が、まだ日本はそんな風潮があるので、これからどんどん変えて行くといいなと思います。

同性婚もまだ日本では認められてないです。政府から変わっていくといいなと思います。LGBT は表面的に見えないだけで、13 人に 1 人と言われてます。13 人に 1 人の割合は左利きの人とか AB 型の方と同じ割合です。40 人のクラスに 1 人はいる割合。いないと思っていても実はいる。ホモとかレズとかおかまとかいうネタを、学校の先生がしてしまうと、生徒もそういう先生の態度を良き事とってしまう。ちょいちょい聞くのが、男子 2 人が掃除中とかにじゃれてるのを見て、先生が「コラー！お前らホモか！」と言うということ。当事者がそこにいることを考えると、この先生には私は話したくないと思ってしまう。学校の先生には、これからもっと LGBT を理解して意識を変えていただけたらと思います。いろんな多様性を理解し受容する教員が増えていくことを望みます。

今、愛知県出身の一橋大学 4 年生の男子学生が亡くなった事件の裁判をしている最中です。その経緯は、その男子学生が好きになった相手が男の子で、本人に告白。それをグループ LINE で暴露されてしまって、男子学生はショックで学校に行けなくなってしまった。親にも相談し、結局親から学校に相談し改善を求めたんですけど、学校側が対応しなかったということで、その男子学生は数日後に大学の校舎から投身自殺してしまいました。

何がダメだったかという、本人の許可なくその人のセクシャリティを第三者に暴露してしまったこと。アウトティングと言います。それは絶対に NG、ご法度なのでそれだけ覚えて帰っていただけたらと思います。

アウトティングともう一つ相対するのが、カミングアウトというキーワード。本人が自分のセクシャリティを誰かに話すこと。カミングアウトという行為はその相手をめっちゃめっちゃ信頼してする行為です。もしカミングアウトされた場合、まず、相談してくれてありがとうございますと伝えてもらえたら、当事者はすごくホッとするとします。もし教員の方で生徒からカミングアウトされた場合は、そこだけにとどめておいて、他の先生に話したりとかはちょっと控えるというふうにしていきたいです。その先生だけを信頼して告白する場合がありますから。

生徒から見て相談しやすい先生の 3 か条というのがあります。その 1、話を丁寧に聞いてくれる先生。その 2、LGBT を笑いの対象にしない先生。その 3、一番大事なことですが、人間は男性女性だけではないことを知っている先生です。

今では日本でも認識が深まってきて理解ある風潮になってきたんですけど、まだまだ苦しむ生徒さんはいます。本当に見えないだけでクラスの中にも LGBT っているんだな、どこにでもいるんだなって、そういう意識を持っていたらいいと思います。小中で隠してる子は今でも多いのです。私の所に匿名でメールしてくる子も言えなくて苦しんでいるし、学生でもまだまだいます。どんどん、日本がアメリカや欧米みたいに理解がもっともっと深まっていけばいいなと思います。

最後に見ていただきたいものがあります。最初に見せられた時は衝撃でした。世界地図ですけど、真っ赤な所は LGBT であることがバレると死刑になる国。中東は真っ赤なんですけど、特に代表されるのがサウジアラビア、イラン、イエメン、スーダン、ソマリアはもう本当に厳しいです。見つかったと同時に捕まっちゃう。即刻死刑と聞いたことがあります。アメリカみたいに同性婚 OK な国もあれば、そういう中東みたいに見つかった瞬間捉えられて死刑にされる国も、実際に世界にはあります。差別は本当に根強いんです。そういうことを伝えなかったです。

以上です。有難うございました。

2年目協働事業 事業報告書

事業内容	実施場所	豊川高等学校 1階 第3会議室
	概要	<p>参加 21名 一般市民 4名 豊川高校生徒会 5名 豊川共生ネットみらい 10名 豊川市市民協働国際課 2名</p> <p>『一度しかない人生、思い切り輝く Part2～ひとりひとりの音色(個性)を大切に作るハーモニー＝共生社会～』(3月22日(日)13:30～16:30 ウィズ豊川)のより一層の内容充実を目指し、事前合同学習会(豊川高校生徒会と豊川共生ネットみらい)として『LGBTを学ぶ～加藤ゆうけいさんと共に』を開催した。</p> <p>尚、3月22日のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の様相があり中止となった。</p>
	役割分担	<p>(補助金申請団体の役割及びその説明を記入してください。)</p> <p>豊川共生ネットみらい 企画・広報・運営</p> <p>(協働相手の役割及びその説明を記入してください。)</p> <p>豊川高等学校生徒会 企画・広報・会場設定</p>
事業実施スケジュール	<p>2020年1月18日(土)</p> <p>14:00～14:30 性同一性障害当事者 加藤悠京(ゆうけい)さんのお話</p> <p>14:40～15:45 加藤さんと本音トーク</p> <p>16:00～16:30 豊川市市民協働国際課の出前講座 「協働で元気なまちづくり」</p>	

事業効果	事業成果	<p>(実施したことで、どのような効果が得られたかなどを記入してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2004年の「夜回り先生講演会」以来、豊川共生ネットみらいと豊川高等学校生徒会は交流連携を続けてきた。今回、互いに影響しあう関係がより強固に構築された感がある。 <p style="text-align: center;">【参考】2019年9月29日豊川学園フェスティバルの、生徒本部企画「戦争と平和」にて、豊川共生ネットみらい会員2名が生徒会の要請を受けて戦中戦後の体験談を語った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 加藤ゆうけいさんと出会い、話を聴き、話し合ったことで、LGBTについて知識として知っているだけでは、思い込みや偏見を払拭できないことを学んだ。 3. 13人に一人、LGBTの人がいることを知ったが、その辛さや苦しさへの共感や社会承認ができていないことの原因を加藤ゆうけいさんから求められ、各自の課題となった。 4. LGBTの人たちの存在が対等で当たり前になった時、ジェンダーに変化が現われ、男女共同参画社会の新しい局面が出現することが分かった。豊川共生ネットみらいの活動において、新たな視点の一つとなった。 <p>参照 別紙①「加藤ゆうけいさん スピーチ 文字起こし」 別紙②「加藤ゆうけいさんと本音トーク 報告」</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 市民協働国際課の出前講座「協働で元気なまちづくり」をしていただき、市民団体同士のつながりがまちづくりに大きな役割を果たすことを知った。
	今後の展望	<p>(実施した結果、今後、事業をどのようにしていこうと考えているか記入してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 3月22日のイベントが中止になり、残念でしたが、改めて開催する予定です。 2. その際、豊川高等学校のみならず、他団体と協働で開催しまちづくりに活かします。 3. 男女共同参画社会におけるLGBTの方たちの果たす役割を追求し明確化していきます。

2年目協働事業

収支精算書

収入

区 分		金 額	内 訳
豊川市市民協働推進事業補助金		8,000円	
自主財源	豊川共生ネットみらい	12,827円	
		円	
		円	
合 計		20,827円	

支出

区 分		金 額	内 訳
対象 経 費	報償費（謝礼等）	0円	
	旅費	0円	
	需用費	20,827円	PC インク代 8,434円 カラーコピー用紙 4,000円 ICレコーダー 8,393円
	役務費	0円	
	委託料	0円	
	使用料及び賃借料	0円	
	原材料費	0円	
	備品購入費	0円	
	その他経費	0円	
	小 計 (A)		20,827円
対象 外 経 費		0円	
		0円	
		0円	
		0円	
		0円	
小 計 (B)		0円	
合 計 (A+B)		2,0827円	